

学校支援を積極的に進める

地域と学校のかけ橋として

津島市立南小学校 P T A

1 はじめに

津島市は、濃尾平野の西部に位置しており、600年近く前から続く「尾張津島天王祭」や、国の重要文化財である「堀田家住宅」を始めとする多くの文化財や古い町並みなど、歴史的・文化的遺産に出会うことができる。



【運動場から見た校舎】

本校は、1872年（明治5年）に開校した津島市で最も古い小学校である。創立150年という深い歴史の上に、地域と強くつながり、地域に愛され、地域と共に歩む学校である。

現在は、児童374名、14学級（うち特別支援学級2学級）の中規模校である。校訓『いのちを尊ぶ子 深く考え自ら学ぶ子 明るく元気な子』のもと、「南っ子 にじいろきらきら 日本一！愛知県の人権教育の魁となる学校に！」をスローガンに家庭や地域と連携し教育活動を進めている。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校のP T Aは、登校の見守り活動や学校行事等、積極的に学校支援を行ってきた。しかし、ここ数年のP T A活動は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、縮小・制限を余儀なくされた。また、年々児童数・家庭数は減少傾向にある。こうした状況を踏まえ、今後は感染症などの脅威と対峙・共存しながら、P T A活動の「本質」を問い、「不易流行」を見極め、より一層P T A活動を充実させていきたい。そして、「未来に生きる子どもたちを地域総がかりで育てる」という共通理念のもと、学校、家庭、地域が連携・協働して、子どもたちの健やかな成長に寄与することを願い、本研究を進めることとした。

(2) P T Aの組織と地域諸団体との関わり

執行部役員15名（顧問1、参与1、会長1、副会長3、書記1、会計2、会計監査2、各委員会委員長4）と学級委員24名（各学年4名の合計39名）で構成されている。学級委員24名は、研修、広報、施設・安全、ベルマークの4つの委員会のいずれかに所属し、活動を行っている。

本校は、令和元年度に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を発足させた。現P T A会長は、学校運営協議会委員を努めるとともに、

地域学校協働本部『南風』の本部長として、学校と地域との協議と活動をつなぐ役割を担っている。また、元PTA役員やPTA会員らがコーディネーターやその補佐として活動に取り組んでいる。

また、学校運営協議会委員には、南小学校区コミュニティ推進協議会、南小学校区自主防災会、南校区交通安全協会、学童、放課後こども教室、民生児童委員、老人クラブなどの会長や委員、職員が名を連ねており、学校支援の一翼を担っていただいている。

3 実践活動の概要

(1) 執行部役員の活動とPTA組織の見直し

年に6回の執行部役員会では、PTA総会および常任委員会の企画と運営、学校行事や地域の行事への支援協力について活発に意見交換を行っている。また、ここ数年はPTA組織や活動の在り方を模索してきた。そして、本年度はPTA会則の改訂を行い、それに基づき、令和5年度のPTA役員選出方法を変更し、委員会活動を削減することとなった。今後もPTA組織のスリム化、活動の効率化を図る中で、役員が「やりがい」や「価値」を感じられる魅力的な活動を推進していきたい。

(2) 各委員会の主な活動

① 研修委員会

年3回、講師を招いて様々な話題で講話を聞いたり、クラフトや料理などを体験したりする家庭教育学級を企画・運営している。本年度は、姿勢と生活習慣についての講話と健康体操、思春期への心構えとスマホについての講話を行った。PTA会員の親睦を図り、子育てについての教養を高めるよい機会となっている。



【家庭教育学級の様子】

② 広報委員会

積極的に取材活動を行い、10月、1月、3月の年3回「広報みなみ」を発行している。各学校行事における子どもたちの活動や成長の様子を保護者や地域に伝えるとともに、教職員やPTA活動の紹介、学校スクールカウンセラーの子育てコラムを掲載するなど、工夫を凝らした紙面作りに取り組んでいる。

③ 施設・安全委員会

子どもたちの歩行や自転車に関する交通安全教育の推進を目的に、南校区交通安全協会、津島市自転車協会、市役所の市民協働課、津島警察署と連携し、年1回の交通安全教室を運営している。また、定期的に校内の花壇整備、除草作業を行うなど、子どもたちが安心・安全に生活できる学校環境整備に努めている。

④ ベルマーク委員会

月1回、家庭や地域から集まったベルマークの集計や管理、発送等を行っている。また、ベルマーク以外にもテトラパックやインクカートリッジ回収も行っている。これによって、昨年度は、ミシン、ミニサッカーゴール、ディレクションリングを購入することができ、子どもたちの教育環境向上に役立てられている。

(3) 地域諸団体との連携

① 学習支援・学習環境整備活動

地域学校協働本部『南風』は様々な学習支援を行っている。夏季休業や冬期休業に開催される「ラクラク算数ドキドキ文化教室」がその一つである。4年生以上の児童を対象に、校長が問題を作成し、元PTA役員や学生ボランティアが個別で子ども



【算数の学習の様子】

たちの学習を支援する。また、教職員や地域の方々を講師に迎え、俳句遊び、工作、読み聞かせなどの文化教室もあわせて行っている。その他にも学校屋上の天体望遠鏡を使つての「親子星空教室」を行つたり、本年度は「さつまいもプロジェクト2022」として、さつまいもの苗植え・収穫体験を行つたりして、多くの子どもたちが参加している。

また、南風図書ボランティア（元PTA役員やPTA会員）は、定期的に各学級にある学級文庫の修理・修繕を行っている。

② 子どもたちを見守る活動

一部通学路において、信号がなく見通しが悪い交差点があり、PTA役員らが地域の方々に呼びかけ、ボランティアで旗当番を実施している。この活動を実施するにあたり、南小学校区コミュニティ推進協議会がボランティア登録者の保険を補助し、南校区交通安全協会はボランティアと一緒に子どもたちの登校を見守ってくれている。



【足型ストップマークを描く様子】

また、南校区交通安全協会の呼びかけで、通学路の危険箇所に「足型ストップマーク」のシールを貼つたり、ペンキで描いたりする活動をPTA会員とその子どもたち、教職員が参加して行っている。親子で危険箇所を確認するとともに、自分の命は自分で守ろうとする意識向上に役立っている。

③ 南校区ふれあい運動会

本校では、学校と地域の方々、地域の方々同士のつながりを深めることをねらいとして、地域共催の「南校区ふれあい運動会」を毎年9月下旬の土曜日に開催している。運営委員会は、校長、教頭、PTA

会長、歴代PTA会長、南小学校区コミュニティ推進協議会委員、南校区交通安全協会委員らで構成され、プログラム内容、運営の仕方、予算などについて協議している。当日は、児童競技、家族競技、三世代競技、ふれあい競技（幼児参加）、一般競技（中学生以上高齢者まで参加）など



【三世代競技の様子】

で様々な世代が競技を楽しんでいる。また、子どもたちとPTA役員、地域から募ったボランティアが協力して器具係、審判係、商品係などの役割を果たしている。

しかし、ここ数年はコロナ禍にあって、プログラム内容や参加者等を縮小・削減せざるを得なかった。今後、運営委員会を中心に協議・検討し、新しい形の運動会を提案し、南校区の人々が楽しみながら触れ合うことで、地域の人と人とのつながりをより強くすることを目指していきたい。

④ 創立150周年行事

本校は、本年度、創立150年を迎えた。この大きな節目を、子どもたち、PTA会員、地域の方々と祝うべく、歴代PTA会長や現PTA会長を中心にして周年行事实行委員を立ち上げた。周年行事の一つとして、11月19日（土）に記念式典を開催した。式典では、南小学校150年の歩みを映像で紹介したり、卒業生と在校生で「わたしたちの南小学校」をテーマにパネルディスカッションを行ったりした。開催するにあたり、南小学校区コミュニティ推進協議会が班回覧で地域の方々に開催を呼びかけてくださった。当日は、これまで本校の教育活動を支援してくださったたくさんの地域の方々が出席し、子どもたちやPTA会員、教職員とともに創立150年を祝うことができた。



【創立150年を祝う学校掲示】

4 おわりに

子どもたちには、南小学校を支えてくださっている方々に感謝するとともに、伝統ある南小学校で学ぶことの喜びを感じ、未来に向かって力強く羽ばたいてほしいと願っている。ここ数年のコロナ禍にあり、従来通りのPTA活動ができずに苦慮してきたが、知恵と工夫を出し合い、今後もさらに充実・発展させていくとともに、未来ある子どもたちを学校、家庭、地域が連携・協働し、地域総がかりで育て、支援していきたい。